

探究的な活動を通して 児童の変容を見取る評価規準の設定

POINT 1 単元の目標を確認する

学校において定める総合的な学習の時間の内容（「探究課題」及び「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」）をよりどころとして、中核となる学習活動を基に、どのような学習を通して、どのような資質・能力を育成することを旨とするのかを、単元の目標を通して確認します。

内容	
探究課題 <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な諸問題に対応する横断的・総合的な課題 ・地域や学校の特色に応じた課題 ・児童の興味・関心に基づく課題 	具体的な資質・能力 <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・学びに向かう力、人間性等

単元の目標では、以下の4点を具体的に示していることが大切です。



POINT 2 育成を目指す資質・能力を踏まえた評価規準を作成する

評価規準を作成する際は、児童の実態や地域の特性を生かしたうえで、学習指導要領解説に示されている内容と、以下に示すポイントに沿って設定します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の3項目に沿う ①相互性 ②有限性 ③多様性 ※文末表現は「～理解している」等を用いて設定	探究のプロセスに沿う ①課題設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現 ※4項目とも文末表現は「～している」を用いて設定	以下の2項目に沿う ①自分自身に関すること ②他者や社会との関わりに関すること ※2項目とも文末表現は「～している」を用いて設定

POINT 3 児童の変容や新たな「課題」を、探究的な過程から見取る

児童が「粘り強い取組を行おうとする側面」において、探究的な学習に協働して取り組む中で、継続的に自らの問いや学びの意義を見だし、課題解決に取り組もうとする態度に現れてくると考えることができます。それを見取るために、ワークシートを工夫しポートフォリオ形式にしたり、毎時間の感想に継続性をもたせることを意識したりする工夫が考えられます。さらに、協働学習等における児童の発言からも意識の変容を見取ることが可能となります。

6学年

「富士川舟運をさぐる」

総合的な学習の時間実践事例

単元名：地域の発展に向けて取り組む

人々と地域社会

地域の特質や児童・生徒の発達段階を踏まえて、児童の探究課題（問い）を引き出す。



POINT1 単元の目標を確認する

単元の目標には①学習対象・学習活動、②知識及び技能、③思考力を判断力を表現力等、④学びに向かう力、人間性等の育成を目指す資質能力を具体的に示す。

単元の目標（事例：小学校6年 題材名：富士川舟運を探る）

富士川の歴史、事物を幅広く捉える活動を通して（学習対象）、それを伝承する人々の思いに気づき（知識及び技能）、川と共に発展していく自分たちの社会について考える（思考力、判断力、表現力等）とともに、地域や富士川に愛着を深め、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする（学びに向かう力、人間性等）。

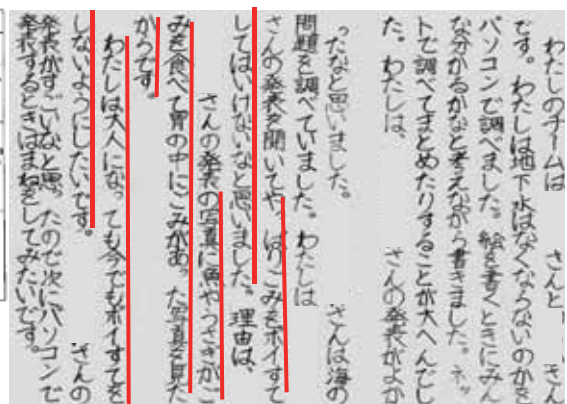
POINT2 育成を目指す資質・能力を踏まえた評価規準を作成する

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①富士川が今の自分たちの地域を支えていることを理解している。（知識） ②今後の地域の発展のために、地域が共同して取り組む大切さを理解している。（知識） ③富士川の人々の歴史や思いについて収集した情報を図や文章でまとめる方法が分かっている。（技能）	①富士川の歴史を伝承する人々の思いと現状から課題をつくり、解決に向けて自分にできることを考えている。（課題設定） ②自分たちの地域を川と共に発展させていくために必要な情報を、手段を選択して収集している。（情報の収集） ③必要な情報を比較したり関連付けたりしながら、情報を整理し、自分なりの意見や考えを深めている。（整理・分析） ④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。（まとめ・表現）	①活動を通して、自分と富士川や地域との関りを見直そうとしている。（自分自身に関すること） ②問題解決の状況を振り返り、地域の発展に向けて取り組もうとしている。（他者や社会との関わりに関すること）

POINT3 ワークシートから児童の変容を見取り、評価する

項目	◎・○・△	振り返りコメント
①富士川舟運に関心を持ち、進んで学習ができましたか。	◎	舟のこまや御米蔵のこまや油の、塩の、なまこかべのこまをしたらよかったです。
②フィールドワークや出前授業で、富士川舟運について理解を深められましたか。	◎	出前授業で話を聞いてみれば米もはこぶのたいへんだったことがわかりました。
③今後の学習課題（調べてみたいこと）を設定することができましたか。	◎	ふねの構造をいったりあんな大きな船が難破する理由が知りたいです。



フィールドワークで「舟・御米蔵」に興味をもち、出前授業で「米を運ぶ大変さや舟の大きさ」を知り、今後は「舟の構造や大きな舟が難破する理由」を課題に設定した。知識が深まっていく中でさらなる疑問が生まれ、自分で調べてみたいという思いをもつことができた。

友達の発表について、よいところを具体的に記述している。学んだことを、自分の生活に生かそうとしている。